

第10巻の刊行に寄せて

学長 松 浦 泰次郎

城西大学女子短期大学部紀要は、昭和58年の開学の年度に第1巻が創刊され、以来、回を重ねて、ここにめでたく第10巻が刊行されることになりました。

女子短期大学部は、経営学科と文学科の2学科および専攻科からなっておりますが、両学科の先生方が、常々、力を合せて、熱心に教育、研究に取り組まれておられますことは、日頃ひそかに感じていたところであります。

申すまでもなく、大学は、教育と研究という二つの使命を担っておりますが、先生方が、研究の成果を活字にして広く外に向って発表されるということは、研究の一つの前進を内包するものとして、一方ならぬ御精進が背景にあることと思います。

そして、研究成果の発表の場は、それぞれの学会誌、学内では、この紀要のほか、短期大学部学術叢書、文学会誌などがあり、それ以外にも、他から求められることもあるわけです。これらに、それぞれ対応されていく御努力は、間断のないことと推察いたします。

また、先生方が、積極的に研究に邁進され、着々と成果をあげられることは、研究者として、それ自体すばらしいことでありますが、それに加えて、その研究成果は、同時に授業の上にも反映し、学生教育の充実として実を結ぶものであることは、特に強調されなければなりません。

近時、大学の活性化ということが強く叫ばれておりますが、先生方の研究努力なくしては、それは期待されないことと極言することもできるといえましょう。

この紀要は、学内ばかりでなく、多くは他の高等教育機関にも送られ、相互の研究情報交換の媒体の役割も果しております。

記念すべき第10巻が刊行されるに当たり、重ねて関係の先生方の御努力に敬意を表するとともに、この紀要が、今後とも回を重ね、ますます発展していくことを祈念するしだいです。